

SDGs推進を経営に

岡山大 大紀産業社長が講義



岡山大で講義する安原社長

同友会ボランティアプロフェッサー

岡山経済同友会(岡山市北区厚生町)の会員が大学の教壇に立つ「ボランティアプロフェッサー」が10日、同津島中の岡山大で行われた。食品乾燥機メーカー・大紀産業(同清心町)の安原宗一郎社長がSDGs(持続可能な開発目標)の推進について講義した。

安原社長は、傷が付くなどして規格外になった農産物の有効活用のほか、長期保存が可能で食品ロスが生

じにくい食品乾燥のメリットを紹介した。アフリカのスーダンに2016年から乾燥機を輸出し、現地の雇用創出や貧困解決に貢献している自社の取り組みを説明。世界的な食料危機を踏まえ「食品乾燥の需要は年々高まっている。SDGsの推進こそが経営の中心になっている」と述べた。

21年度のおかやまSDGsアワードで、同社が特に

優良な取り組みに選ばれたことにも触れ、「SDGs推進で企業のブランド力がアップした。雇用面でもプラスになっており、社員のモチベーションアップにもつながっている」などと話した。

経済学部などの学生約300人が聴いた。

(南原久人)